

「浦安市商店会のあり方検討」
調査業務報告書

令和7年1月

浦安市 市民経済部 商工観光課

目 次

I	調査概要	1
	1. 調査目的	1
	2. 調査方法・回収結果	1
	3. 報告書の見方	1
	4. その他	1
II	結果概要	2
III	調査結果	3
	1. 貴店舗について	3
	2. 商店会について	15
	3. 商店会連合会について	18
	4. 行政について	20
	5. 自由意見	21
IV	意見交換会	22
	1. 第1回意見交換会（議事概要）	22
	2. 第2回意見交換会（議事概要）	23
V	参考資料	24

I 調査概要

1. 調査目的

市内商店会の現状及び課題を把握し、地域経済の活性化と商工振興の担い手である商店会活動の今後の方向性や、浦安市商店会連合会の役割を整理し、商店会のあり方及び浦安市に求められる支援について検討するため、必要な調査を行うことを目的とする。

2. 調査方法・回収結果

(1) 調査対象 : 浦安市商店会連合会の正会員 (各地区商店会、商連商栄会)

(2) 調査対象数 : 327 件 (令和 6 年 4 月 1 日現在)

※金融機関及び市内に同一の店舗を複数展開している事業者は対象外とした

(3) 回収結果 : 162 件 (49.5%)

(4) 調査方法 : 郵送配布・郵送回収

(5) 調査期間 : 令和 6 年 10 月 1 日 (火) ~ 令和 6 年 10 月 15 日 (火)

3. 報告書の見方

(1) 図表中の「n」(number of case の略) は、各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。

複数回答の設問では、すべての比率を合計すると 100.0%を超える。

(2) 調査結果の比率は、小数第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、すべての比率を合計したときに 100.0%にならないなど、各項目の比率と、その合計が一致しないことがある。

(3) 図表中の選択肢の表記は、場合によっては語句を一部簡略化してある。

4. その他

問 2 の設問については、浦安市商店会連合会のデータに基づき修正を行っている。その為、その設問に関係する、問 16 から問 18 については、全員回答として処理を行っている。

Ⅱ 結果概要

令和6年10月から実施した「浦安市商店会実態調査（調査対象：327店舗、回収率49.5%）」及び「意見交換会」の結果概要を以下のとおり整理する。

1. 回答店舗の属性・来店客の年齢層について

- ・業種別では、「卸・小売業」が45.7%、「飲食業」24.7%、「サービス業」23.5%となっている。
- ・従業員規模では10人未満が82.7%、顧客の年齢層は30～60歳代が5割以上を占めている。

2. 経営状況・課題

- ・対前年比の売上は、「横ばい」が39.5%、「減少」が38.9%であり、全体的に減少傾向であった。
- ・代表者の年齢層は、「50歳代以上」が79.0%を占めており、また、「後継者不足」及び「後継者なし（廃業予定）」が59.9%であり、事業主の高齢化や事業承継への課題があることが分かった。
- ・今後10年先の課題について、ソフト面では、「顧客の要望にあった商品の提供」が30.9%、「経営改革に必要な能力」が28.4%であり、情報交換や外部専門人材などを通じた経営支援などが求められていることが推察される。次いでハード面では、「店舗・設備の更新」が24.7%であった。
- ・キャッシュレス決済について、「導入済み」が55.6%であった。一方、未導入の理由は、「決済端末の購入・リース費用負担・導入に伴う追加的な手数料が負担」が53.6%と最も多かった。

3. 各地区商店会について

- ・各地区商店会への加入のメリットは、「情報を取得するのに役立っている」が29.0%、「催事に参加するのに役立っている」が26.5%と多くなっていることが分かった。
- ・各地区商店会の統合については、「メリットを感じない」が26.5%、「商店会の活性化のためには商店会を統合し、組織強化を図るべき」が23.5%と大きく意見が分かれた。
- ・回答者に所属する商店会を伺ったところ、浦安市商店会連合会のデータと回答結果の相違・無回答の店舗が多く、「誤記」（78件）、「無回答」（23件）となっていた。

4. 商店会連合会について

- ・商店会連合会に期待する役割は、「販促活動や催事等のイベントをけん引していく役割」が46.3%、「定期的な情報交換を実施する機会の提供」が39.5%となっていた。
- ・商店会連合会の役員も自店舗の経営に奔走しており、年1回開催の百縁商店街が限界であるという意見があったことから、販促活動や催事等を開催するには、新しい手法を検討する必要がある。
- ・商店会連合会活動への参画は、「分からない」が46.9%、「参加したくない」が37.0%であった。

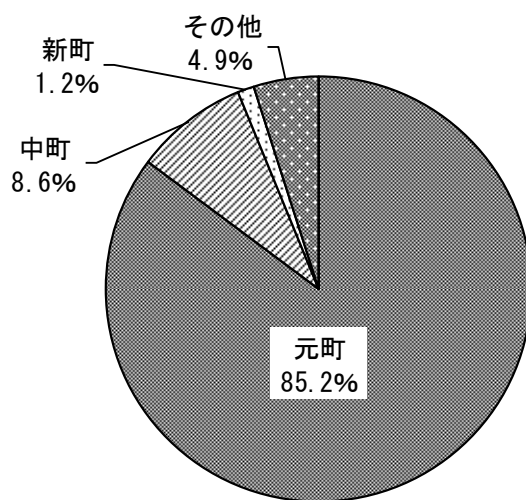
5. 行政について

- ・各店舗からみた行政への要望は、「催事等へのイベント回数を増やすための財政的支援」が35.2%、「街路灯等整備・撤去・処分、維持管理等への支援」が35.2%、「商店会の将来ビジョンの作成支援」が30.9%となっていることから、財政的な支援が求められていることが分かった。
- ・現在の物価高騰は加盟店舗に留まらず、消費者である市民にも影響を及ぼしていることから、地域経済の活性化に寄与する事業を検討してほしいという意見があった。

Ⅲ 調査結果

1. 貴店舗について

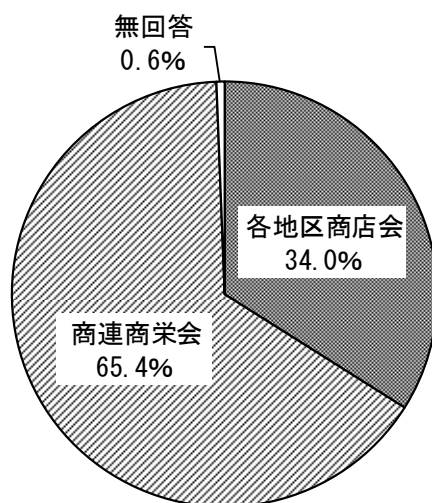
問1 営業している地域は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)



n=162

「元町」が85.2%で最も高く、次いで「中町」が8.6%、「新町」が1.2%となっている。

問2 所属している商店会は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

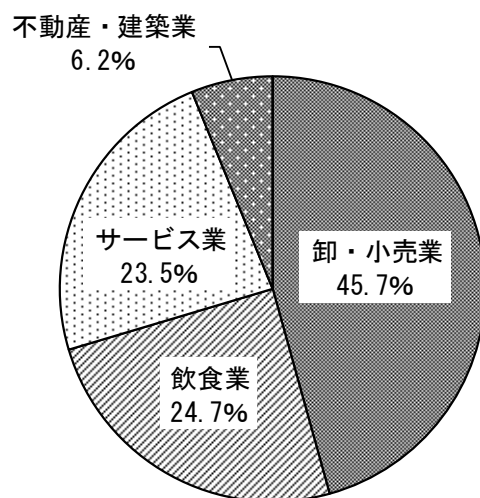


n=162

「商連商栄会」が65.4%、「各地区商店会」が34.0%となっている。

(注記) 浦安市商店会連合会のデータと回答結果の相違は、「誤記」(78 件)、「無回答」(23 件)となっている。

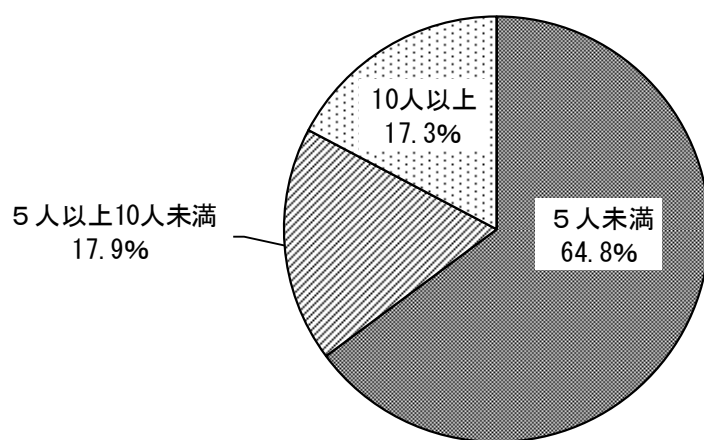
問3 業態は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)



n=162

「卸・小売業」が45.7%で最も高く、次いで「飲食業」が24.7%、「サービス業」が23.5%、「不動産・建築業」が6.2%となっている。

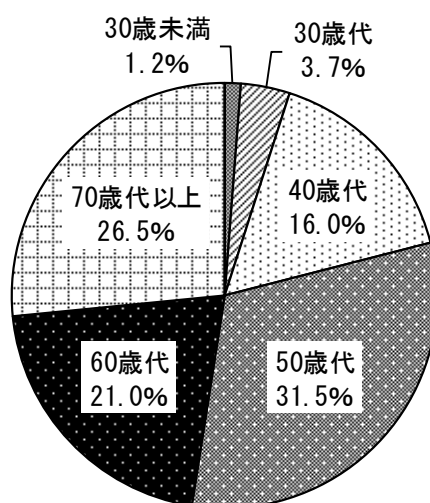
問4 従業員数は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)



n=162

「5人未満」が64.8%で最も高く、次いで「5人以上10人未満」が17.9%、「10人以上」が17.3%となっている。

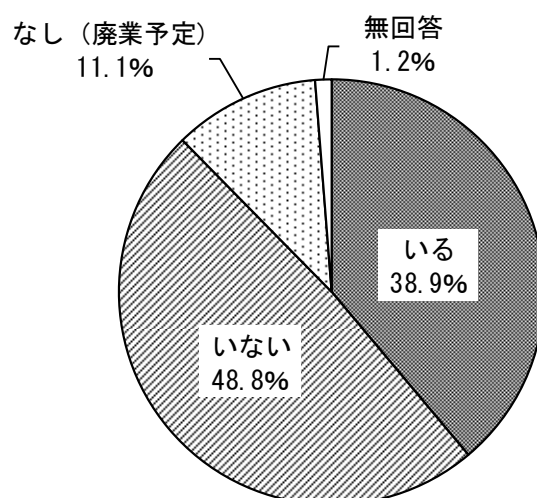
問5 代表者の年齢層は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)



n=162

「50歳代」が31.5%で最も高く、次いで「70歳代以上」が26.5%、「60歳代」が21.0%、「40歳代」が16.0%となっている。

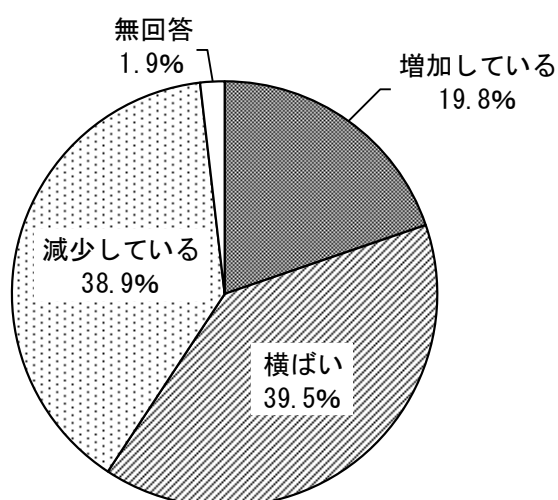
問6 貴社（貴店舗）において、後継者はいますか。(○は1つだけ)



n=162

「いない」が48.8%で最も高く、次いで「いる」が38.9%、「なし（廃業予定）」が11.1%となっている。

問7 売上動向について、昨年と比較していかがですか。(○は1つだけ)



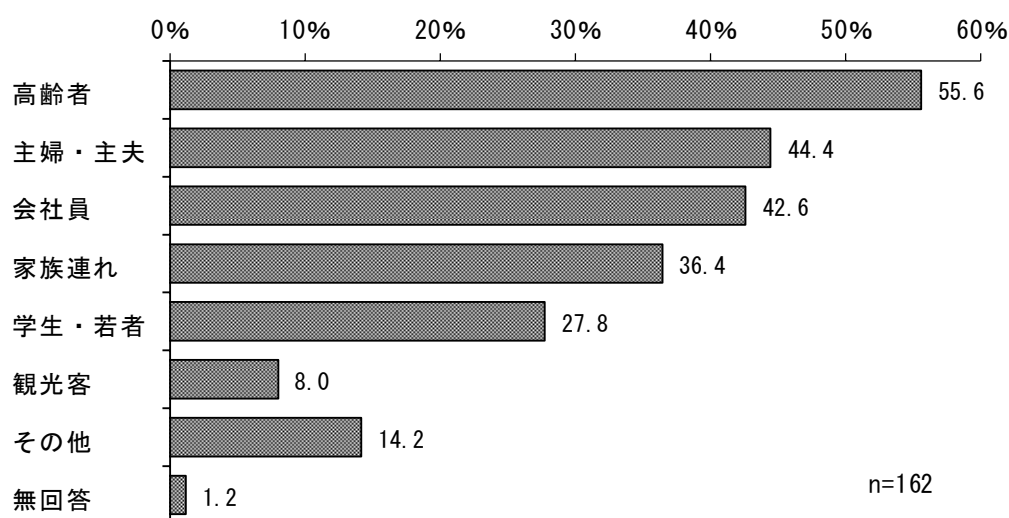
n=162

「横ばい」が39.5%で最も高く、次いで「減少している」が38.9%、「増加している」が19.8%となっている。

業態別でみると、「飲食業」、「サービス業」は、「卸・小売業」と比べ、「増加している」が1割ほど高くなっている。従業員数別でみると、「5人以上」は、「5人未満」と比べ、「増加している」が2割ほど高くなっている。また、代表者の年齢層が若くなるほど、「増加している」が増加傾向にある。

		n	増加している	横ばい	減少している	無回答
全体		162	19.8	39.5	38.9	1.9
営業地域	元町	138	18.8	39.1	40.6	1.4
	中町	14	21.4	57.1	21.4	-
	新町	2	50.0	-	50.0	-
	その他	8	25.0	25.0	37.5	12.5
所属している 商店会	各地区商店会	55	14.5	41.8	41.8	1.8
	商連商栄会	106	22.6	38.7	36.8	1.9
業態	卸・小売業	74	13.5	37.8	47.3	1.4
	飲食業	40	25.0	42.5	32.5	-
	サービス業	38	23.7	39.5	34.2	2.6
	不動産・建築業	10	30.0	40.0	20.0	10.0
従業員数	5人未満	105	12.4	41.9	44.8	1.0
	5人以上10人未満	29	31.0	34.5	34.5	-
	10人以上	28	35.7	35.7	21.4	7.1
代表者の 年齢層	30歳未満	2	100.0	-	-	-
	30歳代	6	33.3	33.3	33.3	-
	40歳代	26	30.8	38.5	23.1	7.7
	50歳代	51	19.6	37.3	43.1	-
	60歳代	34	17.6	38.2	41.2	2.9
	70歳代以上	43	9.3	46.5	44.2	-

問8 来店が多い客層は、次のどれにあてはまりますか。(〇はいくつでも)

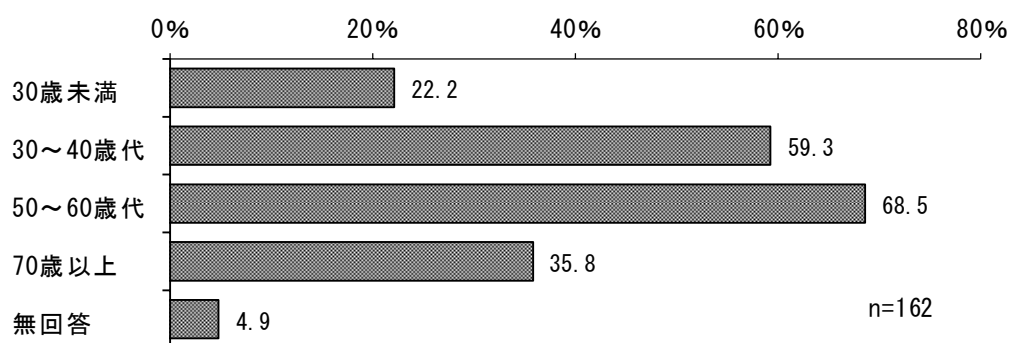


「高齢者」が55.6%で最も高く、次いで「主婦・主夫」が44.4%、「会社員」が42.6%、「家族連れ」が36.4%となっている。

業態別でみると、「卸・小売業」は「高齢者」(74.3%)、「主婦・主夫」(56.8%)、「飲食業」は「会社員」(67.5%)、「家族連れ」(62.5%)が5割以上となっている。

		n	高齢者	主婦・主夫	会社員	家族連れ	学生・若者	観光客	その他	無回答
全体		162	55.6	44.4	42.6	36.4	27.8	8.0	14.2	1.2
営業地域	元町	138	58.7	47.8	44.9	37.0	28.3	7.2	13.0	-
	中町	14	50.0	28.6	28.6	28.6	21.4	14.3	21.4	7.1
	新町	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	その他	8	25.0	-	37.5	50.0	37.5	12.5	25.0	12.5
所属している商店会	各地区商店会	55	40.0	34.5	49.1	32.7	29.1	9.1	14.5	1.8
	商連商栄会	106	63.2	49.1	38.7	38.7	27.4	7.5	14.2	0.9
業態	卸・小売業	74	74.3	56.8	28.4	27.0	21.6	2.7	12.2	1.4
	飲食業	40	37.5	35.0	67.5	62.5	40.0	17.5	5.0	-
	サービス業	38	44.7	36.8	44.7	34.2	31.6	10.5	18.4	2.6
	不動産・建築業	10	30.0	20.0	40.0	10.0	10.0	-	50.0	-
従業員数	5人未満	105	56.2	45.7	40.0	34.3	26.7	3.8	18.1	-
	5人以上10人未満	29	65.5	48.3	37.9	37.9	24.1	6.9	10.3	3.4
	10人以上	28	42.9	35.7	57.1	42.9	35.7	25.0	3.6	3.6
代表者の年齢層	30歳未満	2	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	-	-
	30歳代	6	33.3	33.3	16.7	33.3	-	33.3	16.7	-
	40歳代	26	30.8	30.8	65.4	38.5	19.2	7.7	7.7	-
	50歳代	51	60.8	49.0	41.2	41.2	27.5	5.9	17.6	2.0
	60歳代	34	58.8	52.9	47.1	29.4	41.2	5.9	5.9	2.9
	70歳代以上	43	62.8	39.5	30.2	34.9	25.6	4.7	20.9	-

問9 来店が多い年齢層は、次のどれにあてはまりますか。(〇はいくつでも)



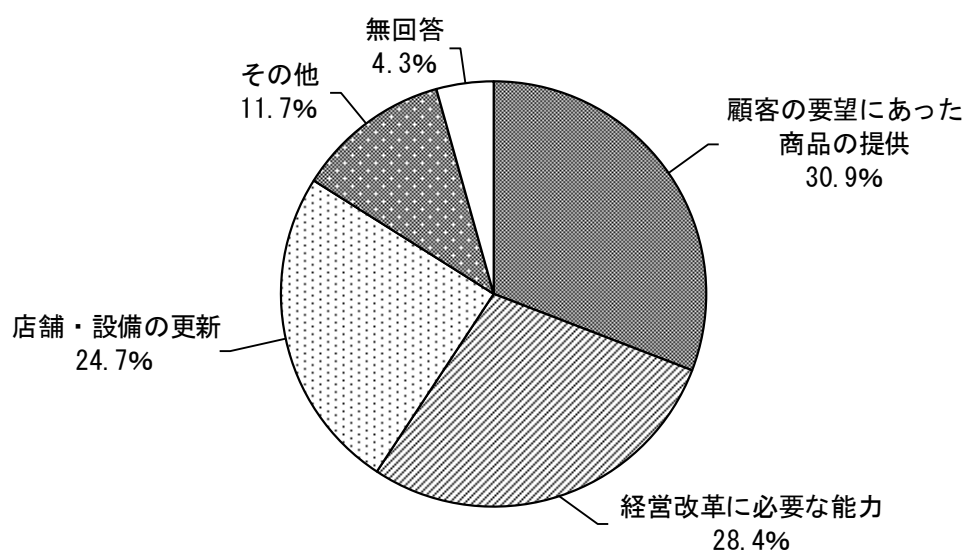
「50～60歳代」が68.5%で最も高く、次いで「30～40歳代」が59.3%、「70歳以上」が35.8%、「30歳未満」が22.2%となっている。

業態別でみると、「卸・小売業」、「飲食業」、「サービス業」は、いずれも「50～60歳代」が6割以上となっている。一方、「30～40歳代」は、「飲食業」、「サービス業」で7割台なのに対し、「卸・小売業」は47.3%と2割以上低くなっている。

代表者の年齢層別でみると、「50歳代」から「70歳代以上」にかけ、「30～40歳代」は2割以上減少、「50～60歳代」、「70歳以上」は1割ほど増加しており、高齢層の客層が増加する傾向となっている。

		n	30歳未満	30～40歳代	50～60歳代	70歳以上	無回答
全体		162	22.2	59.3	68.5	35.8	4.9
営業地域	元町	138	23.2	62.3	71.7	37.0	2.2
	中町	14	7.1	28.6	64.3	42.9	21.4
	新町	2	-	50.0	50.0	-	-
	その他	8	37.5	62.5	25.0	12.5	25.0
所属している 商店会	各地区商店会	55	25.5	63.6	58.2	21.8	5.5
	商連商栄会	106	20.8	56.6	73.6	42.5	4.7
業態	卸・小売業	74	18.9	47.3	75.7	44.6	4.1
	飲食業	40	25.0	75.0	67.5	27.5	-
	サービス業	38	23.7	71.1	63.2	31.6	2.6
	不動産・建築業	10	30.0	40.0	40.0	20.0	40.0
従業員数	5人未満	105	21.0	57.1	71.4	38.1	4.8
	5人以上10人未満	29	17.2	55.2	69.0	37.9	6.9
	10人以上	28	32.1	71.4	57.1	25.0	3.6
代表者の 年齢層	30歳未満	2	-	50.0	100.0	-	-
	30歳代	6	33.3	83.3	33.3	-	-
	40歳代	26	11.5	65.4	65.4	26.9	3.8
	50歳代	51	25.5	66.7	66.7	35.3	9.8
	60歳代	34	20.6	58.8	67.6	35.3	2.9
	70歳代以上	43	25.6	44.2	76.7	48.8	2.3

問 10 今後 10 年先の課題は、次のどれにあてはまりますか。(○は 1 つだけ)



n=162

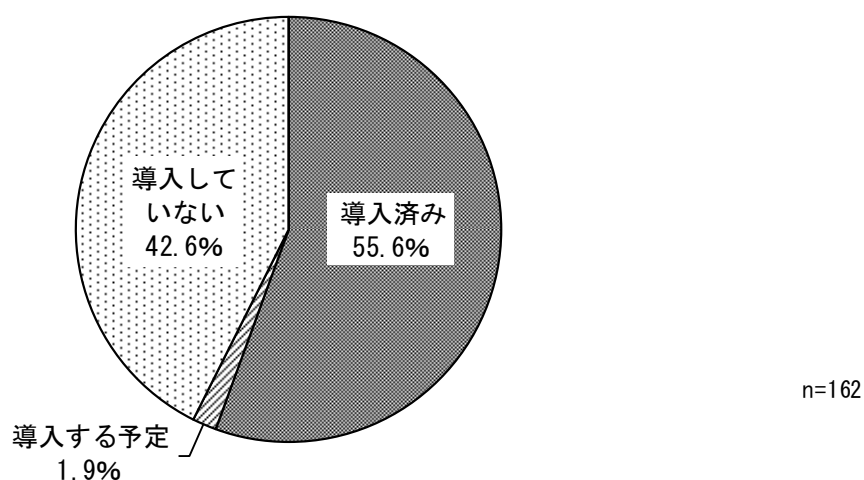
「顧客の要望にあった商品の提供」が 30.9%で最も高く、次いで「経営改革に必要な能力」が 28.4%、「店舗・設備の更新」が 24.7%となっている。

業態別でみると、「卸・小売業」は「顧客の要望にあった商品の提供」(41.9%)、「飲食業」は「店舗・設備の更新」(35.0%)、「サービス業」は「経営改革に必要な能力」(36.8%)が最も高くなっている。

		n	顧客の要望にあった商品の提供	経営改革に必要な能力	店舗・設備の更新	その他	無回答
全体		162	30.9	28.4	24.7	11.7	4.3
営業地域	元町	138	28.3	30.4	26.1	10.9	4.3
	中町	14	35.7	14.3	21.4	28.6	-
	新町	2	100.0	-	-	-	-
	その他	8	50.0	25.0	12.5	-	12.5
所属している商店会	各地区商店会	55	32.7	27.3	20.0	10.9	9.1
	商連商栄会	106	30.2	29.2	26.4	12.3	1.9
業態	卸・小売業	74	41.9	25.7	17.6	10.8	4.1
	飲食業	40	20.0	27.5	35.0	15.0	2.5
	サービス業	38	23.7	36.8	26.3	10.5	2.6
	不動産・建築業	10	20.0	20.0	30.0	10.0	20.0
従業員数	5人未満	105	28.6	22.9	27.6	16.2	4.8
	5人以上10人未満	29	24.1	44.8	20.7	6.9	3.4
	10人以上	28	46.4	32.1	17.9	-	3.6
代表者の年齢層	30歳未満	2	-	-	100.0	-	-
	30歳代	6	50.0	33.3	-	-	16.7
	40歳代	26	15.4	26.9	42.3	11.5	3.8
	50歳代	51	31.4	37.3	17.6	7.8	5.9
	60歳代	34	44.1	20.6	23.5	11.8	-
	70歳代以上	43	27.9	25.6	23.3	18.6	4.7

問 11 キャッシュレス決済※の状況について、次のどれにあてはまりますか。

(※キャッシュレス決済：現金を使わずに支払いを済ませる方法)



「導入済み」が 55.6%で最も高く、次いで「導入していない」が 42.6%、「導入する予定」が 1.9%となっている。

業態別でみると、「導入済み」は「飲食業」(70.0%)が最も高く、「卸・小売業」(51.4%)は2割近く低くなっている。

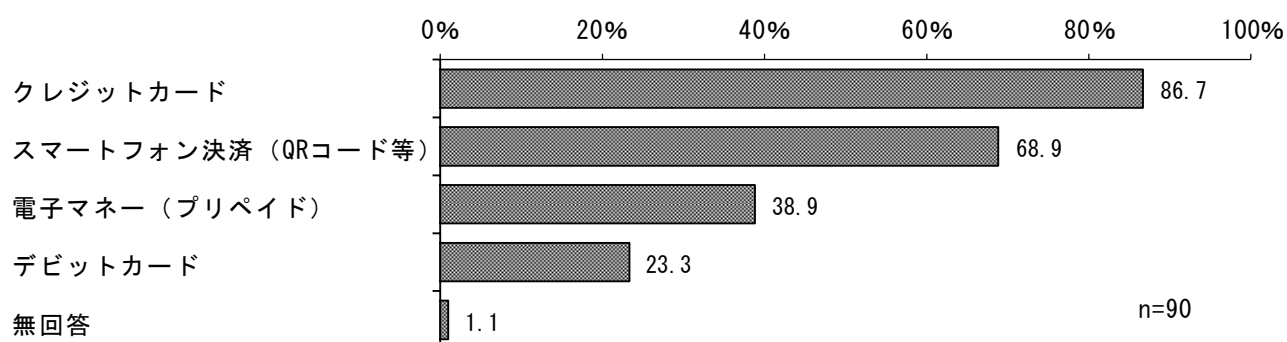
代表者の年齢層別でみると、「導入済み」は「30歳代」及び「50歳代」(66.7%)が最も高く、「70歳代以上」(39.5%)は2割以上低くなっていることから、高齢層で減少する傾向となっている。

		n	導入済み	導入する予定	導入していない	無回答
全体		162	55.6	1.9	42.6	-
営業地域	元町	138	55.1	2.2	42.8	-
	中町	14	57.1	-	42.9	-
	新町	2	-	-	100.0	-
	その他	8	75.0	-	25.0	-
	所属している商店会					
	各地区商店会	55	58.2	-	41.8	-
	商連商栄会	106	54.7	2.8	42.5	-
業態	卸・小売業	74	51.4	-	48.6	-
	飲食業	40	70.0	5.0	25.0	-
	サービス業	38	60.5	2.6	36.8	-
	不動産・建築業	10	10.0	-	90.0	-
従業員数	5人未満	105	46.7	1.0	52.4	-
	5人以上10人未満	29	69.0	-	31.0	-
	10人以上	28	75.0	7.1	17.9	-
代表者の年齢層	30歳未満	2	50.0	-	50.0	-
	30歳代	6	66.7	-	33.3	-
	40歳代	26	61.5	3.8	34.6	-
	50歳代	51	66.7	2.0	31.4	-
	60歳代	34	52.9	-	47.1	-
	70歳代以上	43	39.5	2.3	58.1	-

問12 (問11で「1 導入済み」と回答された方にお聞きします。)

貴店舗で導入しているキャッシュレス決済は、次のどれにあてはまりますか。

(〇はいくつでも)



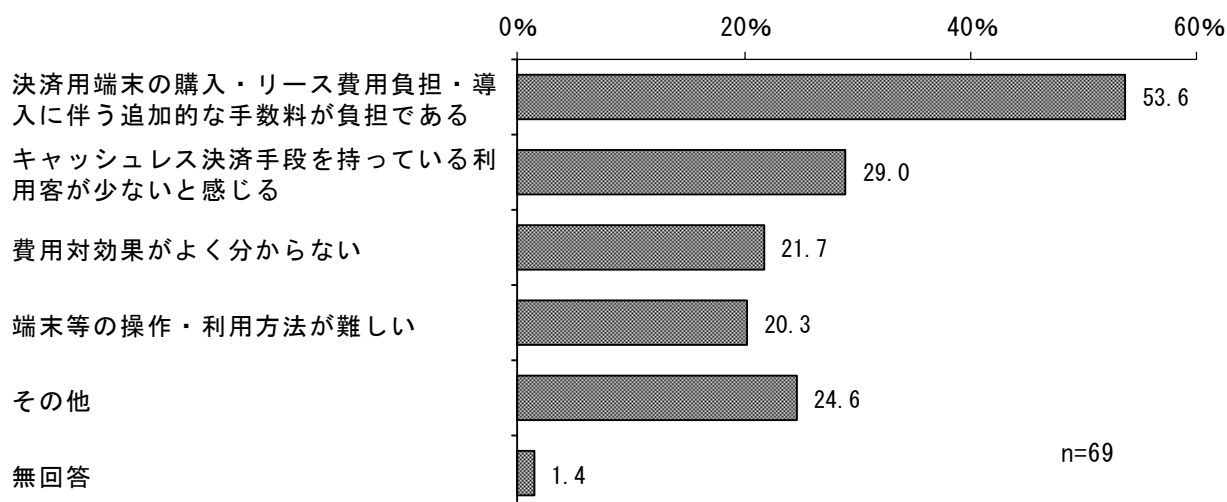
「クレジットカード」が86.7%で最も高く、次いで「スマートフォン決済 (QRコード等)」が68.9%、「電子マネー (プリペイド)」が38.9%、「デビットカード」が23.3%となっている。

所属している商店会別でみると、「クレジットカード」、「スマートフォン決済 (QRコード等)」の導入率に大きな差はみられないが、「電子マネー (プリペイド)」、「デビットカード」は、「各地区商店会」が「商連商栄会」より1割ほど高くなっている。

		n	クレジットカード	スマートフォン決済 (QRコード等)	電子マネー (プリペイド)	デビットカード	無回答
全体		90	86.7	68.9	38.9	23.3	1.1
営業地域	元町	76	86.8	72.4	39.5	22.4	-
	中町	8	100.0	50.0	37.5	12.5	-
	新町	-	-	-	-	-	-
	その他	6	66.7	50.0	33.3	50.0	16.7
所属している商店会	各地区商店会	32	84.4	68.8	46.9	31.3	3.1
	商連商栄会	58	87.9	69.0	34.5	19.0	-
業態	卸・小売業	38	89.5	65.8	34.2	18.4	-
	飲食業	28	89.3	75.0	42.9	25.0	-
	サービス業	23	82.6	69.6	43.5	30.4	-
	不動産・建築業	1	-	-	-	-	100.0
従業員数	5人未満	49	83.7	73.5	38.8	18.4	2.0
	5人以上10人未満	20	90.0	65.0	15.0	15.0	-
	10人以上	21	90.5	61.9	61.9	42.9	-
代表者の年齢層	30歳未満	1	-	100.0	-	-	-
	30歳代	4	75.0	100.0	50.0	-	-
	40歳代	16	100.0	75.0	62.5	31.3	-
	50歳代	34	82.4	73.5	38.2	23.5	-
	60歳代	18	94.4	72.2	38.9	27.8	-
	70歳代以上	17	82.4	41.2	17.6	17.6	5.9

問13 (問11で「3 導入していない」と回答された方にお聞きします。)

貴店舗でキャッシュレス決済を導入しない要因は何ですか。(〇はいくつでも)

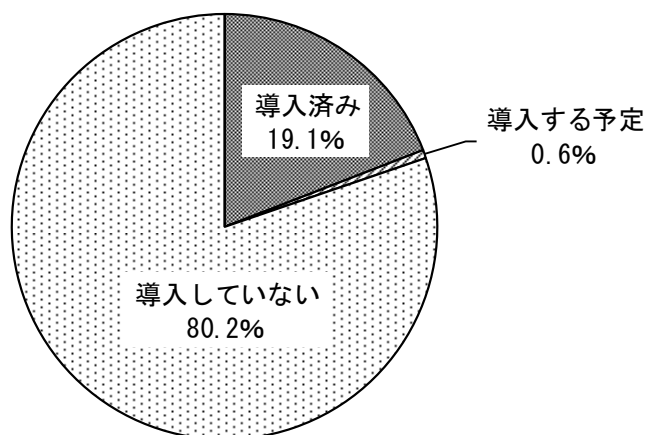


「決済用端末の購入・リース費用負担・導入に伴う追加的な手数料が負担である」が53.6%で最も高く、次いで「キャッシュレス決済手段を持っている利用客が少ないと感じる」が29.0%、「費用対効果がよく分からない」が21.7%、「端末等の操作・利用方法が難しい」が20.3%となっている。

	n	決済用端末の購入・リース費用負担・導入に伴う追加的な手数料が負担である	キャッシュレス決済手段を持っている利用客が少ないと感じる	費用対効果がよく分からない	端末等の操作・利用方法が難しい	その他	無回答
全体	69	53.6	29.0	21.7	20.3	24.6	1.4
営業地域	元町	55.9	32.2	23.7	22.0	18.6	1.7
	中町	50.0	16.7	-	16.7	66.7	-
	新町	50.0	-	50.0	-	-	-
	その他	-	-	-	-	100.0	-
所属している 商店会	各地区商店会	56.5	13.0	17.4	21.7	26.1	4.3
	商連商栄会	51.1	37.8	22.2	20.0	24.4	-
業態	卸・小売業	55.6	33.3	16.7	11.1	16.7	2.8
	飲食業	60.0	30.0	70.0	80.0	30.0	-
	サービス業	71.4	21.4	7.1	7.1	28.6	-
	不動産・建築業	11.1	22.2	11.1	11.1	44.4	-
従業員数	5人未満	50.9	32.7	20.0	21.8	25.5	1.8
	5人以上10人未満	66.7	22.2	33.3	22.2	11.1	-
	10人以上	60.0	-	20.0	-	40.0	-
代表者の 年齢層	30歳未満	100.0	-	-	100.0	-	-
	30歳代	-	-	-	-	100.0	-
	40歳代	77.8	11.1	22.2	33.3	33.3	-
	50歳代	50.0	25.0	18.8	6.3	31.3	-
	60歳代	56.3	43.8	25.0	25.0	12.5	-
	70歳代以上	48.0	32.0	24.0	20.0	20.0	4.0

問 14 EC サイト※の状況について、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

※EC サイト：自社の商品やサービスをインターネット上に置いたウェブサイトで商品を通
信販売するサイトのこと。いわゆるインターネットショッピングサイト



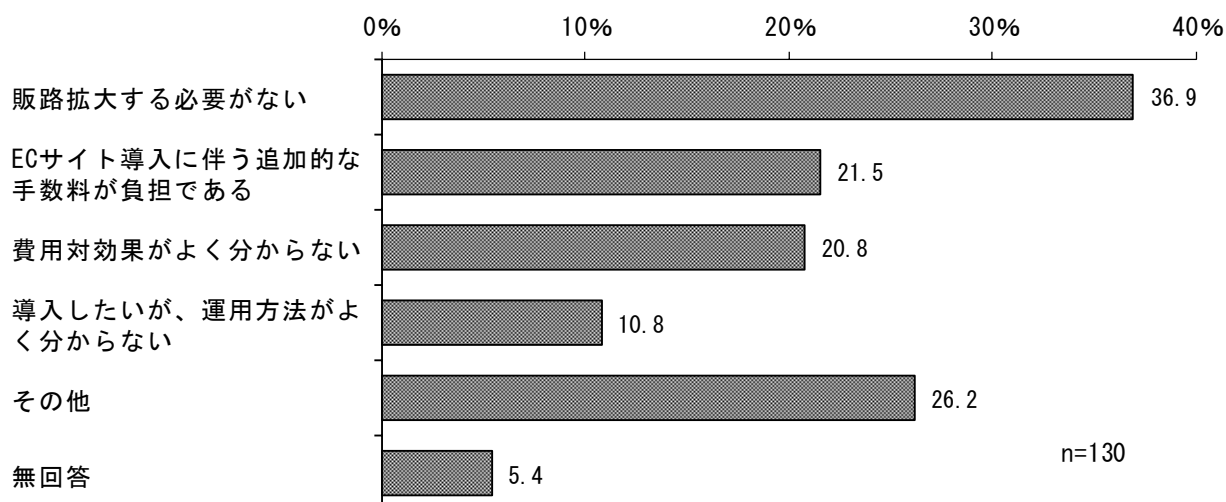
n=162

「導入していない」が 80.2%で最も高く、次いで「導入済み」が 19.1%、「導入する予定」が 0.6%となっている。

業態別でみると、「導入済み」は「卸・小売業」が 25.7%で最も高く、「飲食業」(10.0%)は1割以上低くなっている。

		n	導入済み	導入する予定	導入して いない	無回答
全体		162	19.1	0.6	80.2	-
営業地域	元町	138	18.1	0.7	81.2	-
	中町	14	14.3	-	85.7	-
	新町	2	50.0	-	50.0	-
	その他	8	37.5	-	62.5	-
所属している 商店会	各地区商店会	55	25.5	-	74.5	-
	商連商栄会	106	16.0	0.9	83.0	-
業態	卸・小売業	74	25.7	-	74.3	-
	飲食業	40	10.0	2.5	87.5	-
	サービス業	38	18.4	-	81.6	-
	不動産・建築業	10	10.0	-	90.0	-
従業員数	5人未満	105	14.3	1.0	84.8	-
	5人以上10人未満	29	27.6	-	72.4	-
	10人以上	28	28.6	-	71.4	-
代表者の 年齢層	30歳未満	2	-	50.0	50.0	-
	30歳代	6	33.3	-	66.7	-
	40歳代	26	15.4	-	84.6	-
	50歳代	51	25.5	-	74.5	-
	60歳代	34	26.5	-	73.5	-
	70歳代以上	43	7.0	-	93.0	-

問 15 (問 14 で「3 導入していない」と回答された方にお聞きします。)
貴店舗で EC サイトを導入しない要因は何ですか。(〇はいくつでも)



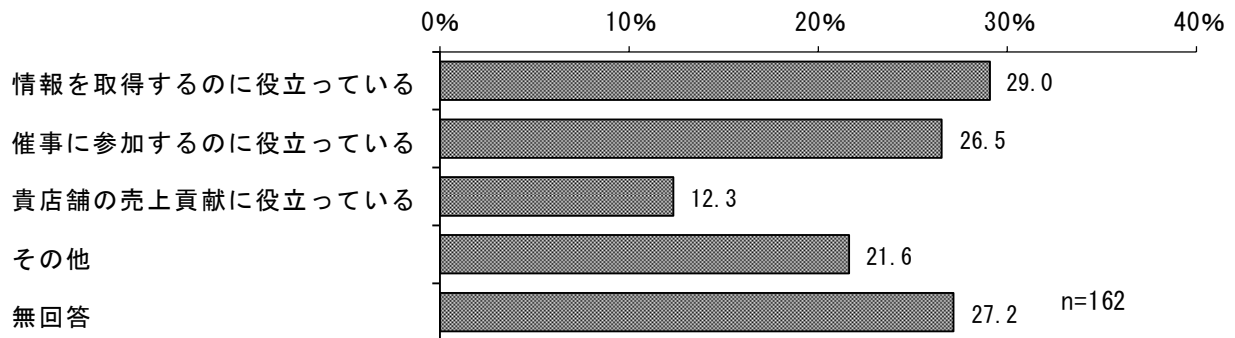
「販路拡大する必要がない」が 36.9%で最も高く、次いで「EC サイト導入に伴う追加的な手数料が負担である」が 21.5%、「費用対効果がよく分からない」が 20.8%、「導入したいが、運用方法がよく分からない」が 10.8%となっている。

業態別でみると、「飲食業」は「販路拡大する必要がない」(57.1%) が 5 割以上となっている。一方、「卸・小売業」は「EC サイト導入に伴う追加的な手数料が負担である」(32.7%)、「販路拡大する必要がない」(30.9%) が同程度となっている。

	n	販路拡大する必要がない	ECサイト導入に伴う追加的な手数料が負担である	費用対効果がよく分からない	導入したいが、運用方法がよく分からない	その他	無回答
全体	130	36.9	21.5	20.8	10.8	26.2	5.4
営業地域	元町	37.5	23.2	21.4	11.6	25.0	4.5
	中町	41.7	16.7	25.0	-	25.0	8.3
	新町	-	-	-	100.0	-	-
	その他	20.0	-	-	-	60.0	20.0
所属している商店会	各地区商店会	36.6	19.5	24.4	12.2	19.5	2.4
	商連商栄会	36.4	22.7	19.3	10.2	29.5	6.8
業態	卸・小売業	30.9	32.7	23.6	12.7	27.3	1.8
	飲食業	57.1	11.4	22.9	14.3	17.1	-
	サービス業	25.8	19.4	16.1	3.2	29.0	19.4
	不動産・建築業	33.3	-	11.1	11.1	44.4	-
従業員数	5人未満	37.1	28.1	21.3	12.4	27.0	2.2
	5人以上10人未満	33.3	9.5	19.0	9.5	19.0	14.3
	10人以上	40.0	5.0	20.0	5.0	30.0	10.0
代表者の年齢層	30歳未満	100.0	-	-	-	-	-
	30歳代	25.0	25.0	-	-	50.0	-
	40歳代	27.3	13.6	18.2	13.6	36.4	-
	50歳代	42.1	23.7	21.1	10.5	21.1	5.3
	60歳代	36.0	28.0	24.0	4.0	24.0	8.0
	70歳代以上	37.5	20.0	22.5	15.0	25.0	7.5

2. 商店会について

問 16 各地区商店会加入のメリットについて、どのようにお考えですか。(〇はいくつでも)



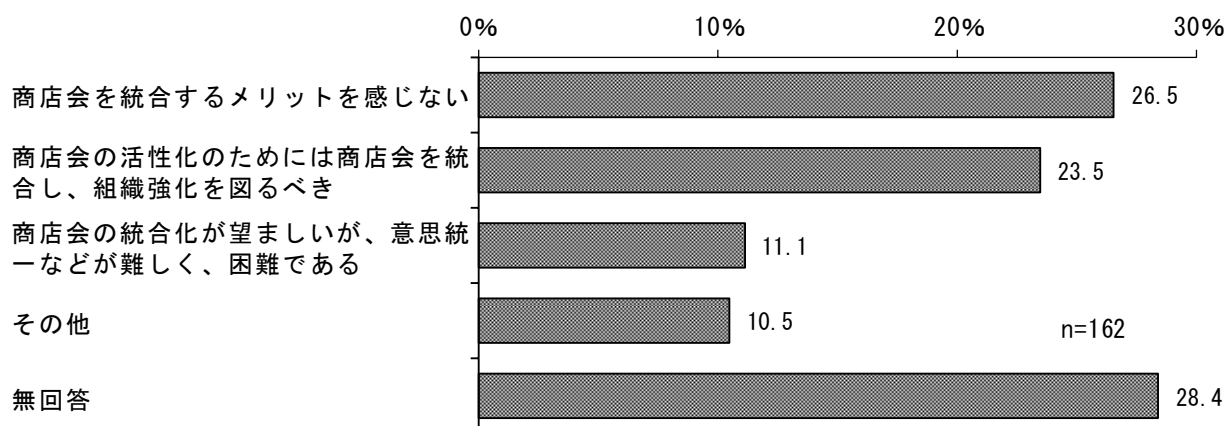
「情報を取得するのに役立っている」が29.0%で最も高く、次いで「催事に参加するのに役立っている」が26.5%、「貴店舗の売上貢献に役立っている」が12.3%となっている。

業態別でみると、「飲食業」は「情報を取得するのに役立っている」(45.0%)、「催事に参加するのに役立っている」(47.5%)が4割台で、他業種に比べ高くなっている。

代表者の年齢層別でみると、「60歳代」は「催事に参加するのに役立っている」(29.4%)がほぼ3割で、「50歳代」、「70歳代以上」と比べ、1割ほど高くなっている。

	n	情報を取得する のに役立っ ている	催事に参加す るのに役立っ ている	貴店舗の売上 貢献に役立っ ている	その他	無回答
全体	162	29.0	26.5	12.3	21.6	27.2
営業地域	元町	30.4	27.5	12.3	24.6	23.2
	中町	21.4	7.1	7.1	-	64.3
	新町	50.0	-	-	-	50.0
	その他	12.5	50.0	25.0	12.5	25.0
所属している 商店会	各地区商店会	29.1	25.5	20.0	25.5	20.0
	商連商栄会	29.2	27.4	8.5	18.9	31.1
業態	卸・小売業	24.3	18.9	13.5	24.3	28.4
	飲食業	45.0	47.5	20.0	12.5	15.0
	サービス業	23.7	18.4	5.3	26.3	34.2
	不動産・建築業	20.0	30.0	-	20.0	40.0
従業員数	5人未満	27.6	23.8	9.5	23.8	29.5
	5人以上10人未満	31.0	27.6	20.7	24.1	20.7
	10人以上	32.1	35.7	14.3	10.7	25.0
代表者の 年齢層	30歳未満	50.0	100.0	50.0	-	-
	30歳代	-	50.0	33.3	16.7	33.3
	40歳代	19.2	46.2	15.4	19.2	15.4
	50歳代	31.4	15.7	11.8	23.5	31.4
	60歳代	32.4	29.4	8.8	11.8	32.4
	70歳代以上	32.6	18.6	9.3	30.2	25.6

問 17 貴店舗が所属する商店会と周辺の商店会の統合について、どのようにお考えですか。
(○は1つだけ)



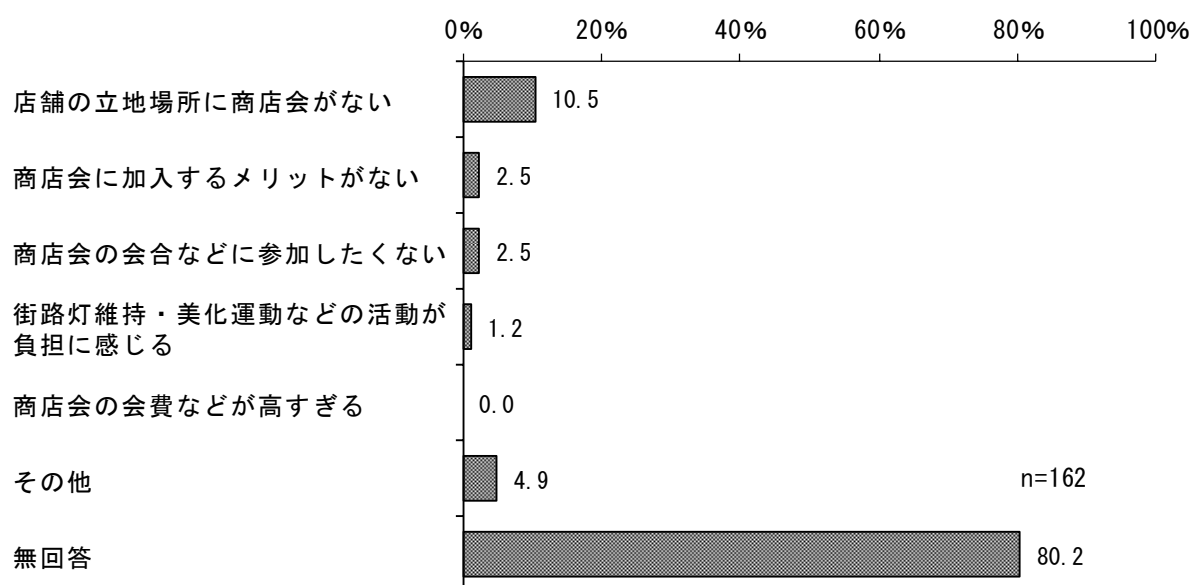
「商店会を統合するメリットを感じない」が26.5%で最も高く、次いで「商店会の活性化のためには商店会を統合し、組織強化を図るべき」が23.5%、「商店会の統合化が望ましいが、意思統一などが難しく、困難である」が11.1%となっている。

所属している商店会別でみると、「商店会の活性化のためには商店会を統合し、組織強化を図るべき」は「各地区商店会」(34.5%)が「商連商栄会」(17.9%)のおよそ2倍となっている。

業態別でみると、「サービス業」は「商店会を統合するメリットを感じない」(28.9%)が「商店会の活性化のためには商店会を統合し、組織強化を図るべき」(13.2%)を1割以上上回っている。一方、「卸・小売業」、「飲食業」は両者がほぼ同程度となっている。

		n	商店会を統合するメリットを感じない	商店会の活性化のためには商店会を統合し、組織強化を図るべき	商店会の統合化が望ましいが、意思統一などが難しく、困難である	その他	無回答
全体		162	26.5	23.5	11.1	10.5	28.4
営業地域	元町	138	27.5	25.4	13.0	10.9	23.2
	中町	14	21.4	14.3	-	-	64.3
	新町	2	-	50.0	-	-	50.0
	その他	8	25.0	-	-	25.0	50.0
所属している商店会	各地区商店会	55	27.3	34.5	12.7	10.9	14.5
	商連商栄会	106	26.4	17.9	9.4	10.4	35.8
業態	卸・小売業	74	24.3	21.6	12.2	12.2	29.7
	飲食業	40	32.5	35.0	22.5	5.0	5.0
	サービス業	38	28.9	13.2	-	13.2	44.7
	不動産・建築業	10	10.0	30.0	-	10.0	50.0
従業員数	5人未満	105	28.6	21.0	10.5	11.4	28.6
	5人以上10人未満	29	17.2	37.9	20.7	3.4	20.7
	10人以上	28	28.6	17.9	3.6	14.3	35.7
代表者の年齢層	30歳未満	2	50.0	-	50.0	-	-
	30歳代	6	-	33.3	-	16.7	50.0
	40歳代	26	26.9	26.9	11.5	15.4	19.2
	50歳代	51	13.7	27.5	15.7	7.8	35.3
	60歳代	34	35.3	23.5	8.8	5.9	26.5
	70歳代以上	43	37.2	16.3	7.0	14.0	25.6

問 18 各地区商店会ではなく、商連商栄会に加入する要因は何ですか。(〇はいくつでも)



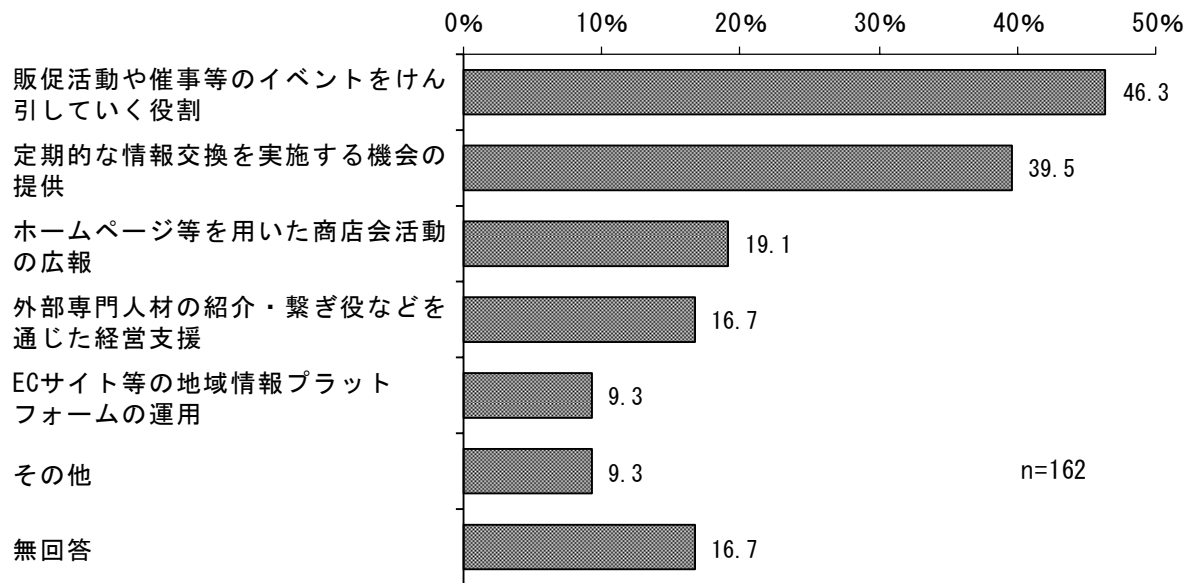
「店舗の立地場所に商店会がない」が 10.5%で最も高く、次いで「商店会に加入するメリットがない」が 2.5%、「商店会の会合などに参加したくない」が 2.5%、「街路灯維持・美化運動などの活動が負担に感じる」が 1.2%となっている。

代表者の年齢層別でみると、「30 歳代」は「商店会の会合などに参加したくない」(16.7%)と全体に比べ、1 割以上上回っている。

		n	店舗の立地場所に商店会がない	商店会に加入するメリットがない	商店会の会合などに参加したくない	街路灯維持・美化運動などの活動が負担に感じる	商店会の会費などが高すぎる	その他	無回答
全体		162	10.5	2.5	2.5	1.2	-	4.9	80.2
営業地域	元町	138	9.4	2.9	2.2	1.4	-	5.8	80.4
	中町	14	28.6	-	7.1	-	-	-	64.3
	新町	2	-	-	-	-	-	-	100.0
	その他	8	-	-	-	-	-	-	100.0
所属している商店会	各地区商店会	55	-	-	1.8	3.6	-	9.1	85.5
	商連商栄会	106	16.0	3.8	2.8	-	-	2.8	77.4
業態	卸・小売業	74	12.2	5.4	2.7	-	-	6.8	75.7
	飲食業	40	5.0	-	2.5	2.5	-	2.5	87.5
	サービス業	38	10.5	-	2.6	2.6	-	5.3	81.6
	不動産・建築業	10	20.0	-	-	-	-	-	80.0
従業員数	5 人未満	105	11.4	2.9	2.9	1.0	-	6.7	78.1
	5 人以上10 人未満	29	13.8	3.4	-	3.4	-	-	79.3
	10 人以上	28	3.6	-	3.6	-	-	3.6	89.3
代表者の年齢層	30 歳未満	2	-	-	-	-	-	-	100.0
	30 歳代	6	-	-	16.7	-	-	-	83.3
	40 歳代	26	-	-	-	3.8	-	-	96.2
	50 歳代	51	13.7	-	-	2.0	-	5.9	80.4
	60 歳代	34	5.9	8.8	5.9	-	-	5.9	79.4
	70 歳代以上	43	18.6	2.3	2.3	-	-	7.0	69.8

3. 商店会連合会について

問 19 商店会連合会にはどのような役割を期待しますか。(〇はいくつでも)

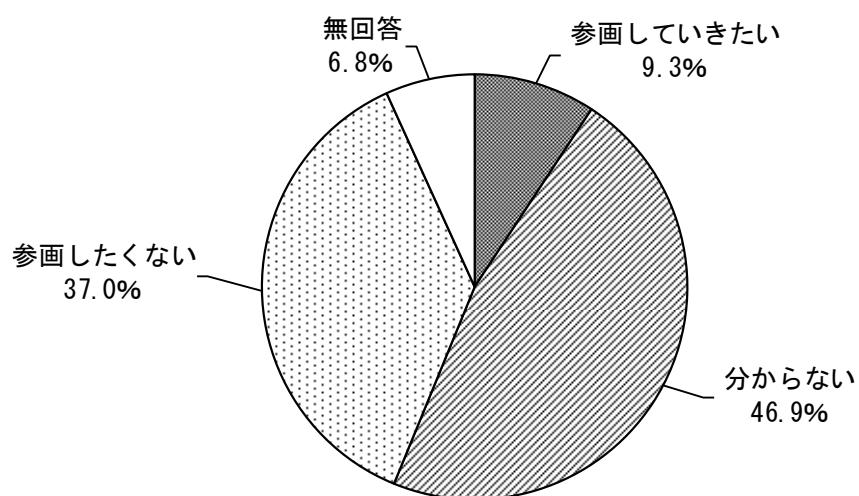


「販促活動や催事等のイベントをけん引していく役割」が46.3%で最も高く、次いで「定期的な情報交換を実施する機会の提供」が39.5%、「ホームページ等を用いた商店会活動の広報」が19.1%、「外部専門人材の紹介・繋ぎ役などを通じた経営支援」が16.7%となっている。

業態別でみると、「飲食業」は「定期的な情報交換を実施する機会の提供」(50.0%)や「外部専門人材の紹介・繋ぎ役などを通じた経営支援」(35.0%)と全体に比べ、1割以上上回っている。

		n	販促活動や催事等のイベントをけん引していく役割	定期的な情報交換を実施する機会の提供	ホームページ等を用いた商店会活動の広報	外部専門人材の紹介・繋ぎ役などを通じた経営支援	ECサイト等の地域情報プラットフォームの運用	その他	無回答
全体		162	46.3	39.5	19.1	16.7	9.3	9.3	16.7
営業地域	元町	138	47.8	39.1	19.6	18.1	9.4	9.4	15.9
	中町	14	35.7	50.0	28.6	7.1	14.3	-	21.4
	新町	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-
	その他	8	37.5	25.0	-	12.5	-	25.0	25.0
所属している商店会	各地区商店会	55	49.1	45.5	21.8	14.5	9.1	10.9	12.7
	商連商栄会	106	45.3	36.8	17.9	17.9	9.4	8.5	17.9
業態	卸・小売業	74	54.1	33.8	10.8	12.2	10.8	6.8	18.9
	飲食業	40	52.5	50.0	27.5	35.0	7.5	-	10.0
	サービス業	38	31.6	42.1	23.7	10.5	5.3	21.1	15.8
	不動産・建築業	10	20.0	30.0	30.0	-	20.0	20.0	30.0
従業員数	5人未満	105	43.8	37.1	19.0	20.0	12.4	11.4	18.1
	5人以上10人未満	29	58.6	48.3	27.6	17.2	6.9	6.9	6.9
	10人以上	28	42.9	39.3	10.7	3.6	-	3.6	21.4
代表者の年齢層	30歳未満	2	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-
	30歳代	6	66.7	66.7	16.7	16.7	16.7	-	-
	40歳代	26	38.5	46.2	26.9	23.1	3.8	3.8	15.4
	50歳代	51	54.9	37.3	13.7	21.6	15.7	9.8	19.6
	60歳代	34	50.0	38.2	20.6	8.8	11.8	11.8	8.8
	70歳代以上	43	34.9	34.9	20.9	11.6	2.3	11.6	23.3

問 20 商店会連合会の活動に参加していきたいですか。(〇は1つだけ)



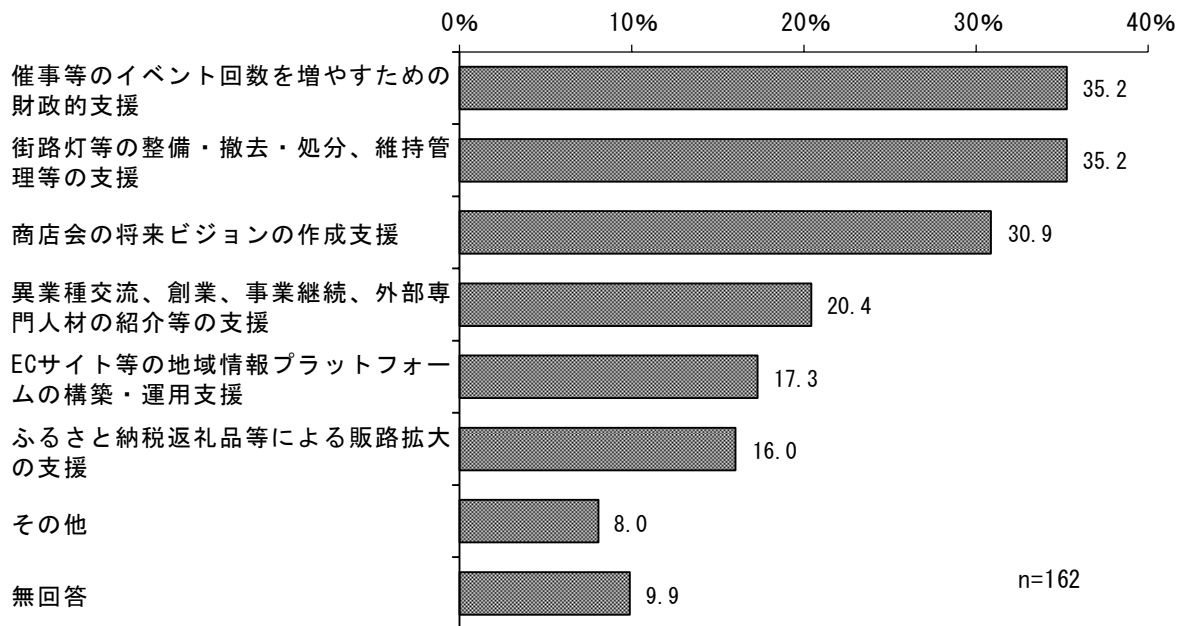
「わからない」が46.9%で最も高く、次いで「参加したくない」が37.0%、「参加していきたい」が9.3%となっている。

所属している商店会別でみると、各地区商店会は「参加したくない」(52.7%)で、全体の1割以上上回っている。また、業態別でみると、「飲食業」は「参加したくない」(47.5%)で、その他の業態と比べ1割以上上回っている。

		n	参加して いきたい	分からない	参加したく ない	無回答
全体		162	9.3	46.9	37.0	6.8
営業地域	元町	138	9.4	45.7	38.4	6.5
	中町	14	7.1	50.0	28.6	14.3
	新町	2	-	50.0	50.0	-
	その他	8	12.5	62.5	25.0	-
所属している 商店会	各地区商店会	55	3.6	38.2	52.7	5.5
	商連商栄会	106	12.3	50.9	29.2	7.5
業態	卸・小売業	74	9.5	51.4	32.4	6.8
	飲食業	40	10.0	37.5	47.5	5.0
	サービス業	38	5.3	50.0	36.8	7.9
	不動産・建築業	10	20.0	40.0	30.0	10.0
従業員数	5人未満	105	8.6	46.7	36.2	8.6
	5人以上10人未満	29	17.2	48.3	34.5	-
	10人以上	28	3.6	46.4	42.9	7.1
代表者の 年齢層	30歳未満	2	-	50.0	50.0	-
	30歳代	6	-	66.7	33.3	-
	40歳代	26	7.7	46.2	42.3	3.8
	50歳代	51	5.9	52.9	31.4	9.8
	60歳代	34	14.7	44.1	41.2	-
	70歳代以上	43	11.6	39.5	37.2	11.6

4. 行政について

問 21 市は今後どのような形で商店会等を支援したら良いと思いますか。(〇はいくつでも)



「催事等のイベント回数を増やすための財政的支援」、「街路灯等の整備・撤去・処分、維持管理等の支援」がそれぞれ 35.2% で最も高く、次いで「商店会の将来ビジョンの作成支援」が 30.9%、「異業種交流、創業、事業継続、外部専門人材の紹介等の支援」が 20.4% となっている。

業態別でみると、「卸・小売業」は「催事等のイベント回数を増やすための財政的支援」、「飲食業」と「サービス業」は「街路灯等の整備・撤去・処分、維持管理等の支援」が最も高くなっている。「飲食業」は「異業種交流、創業、事業継続、外部専門人材の紹介等の支援」(32.5%) も全体を 1 割以上上回っている。

		n	催事等のイベント回数を増やすための財政的支援	街路灯等の整備・撤去・処分、維持管理等の支援	商店会の将来ビジョンの作成支援	異業種交流、創業、事業継続、外部専門人材の紹介等の支援	ECサイト等の地域情報プラットフォームの構築・運用支援	ふるさと納税返礼品等による販路拡大の支援	その他	無回答
全体		162	35.2	35.2	30.9	20.4	17.3	16.0	8.0	9.9
営業地域	元町	138	34.1	35.5	31.2	21.0	18.1	16.7	8.7	9.4
	中町	14	35.7	42.9	28.6	21.4	21.4	21.4	7.1	14.3
	新町	2	50.0	－	100.0	－	－	－	－	－
	その他	8	50.0	25.0	12.5	12.5	－	－	－	12.5
所属している商店会	各地区商店会	55	34.5	38.2	27.3	27.3	14.5	10.9	7.3	10.9
	商連商栄会	106	35.8	33.0	32.1	17.0	18.9	18.9	8.5	9.4
業態	卸・小売業	74	39.2	32.4	29.7	16.2	17.6	21.6	9.5	6.8
	飲食業	40	35.0	45.0	37.5	32.5	20.0	10.0	5.0	10.0
	サービス業	38	28.9	34.2	26.3	15.8	15.8	13.2	7.9	13.2
	不動産・建築業	10	30.0	20.0	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0
従業員数	5人未満	105	35.2	34.3	29.5	21.9	18.1	15.2	9.5	10.5
	5人以上10人未満	29	34.5	37.9	37.9	27.6	20.7	24.1	3.4	10.3
	10人以上	28	35.7	35.7	28.6	7.1	10.7	10.7	7.1	7.1
代表者の年齢層	30歳未満	2	50.0	50.0	－	50.0	50.0	－	50.0	－
	30歳代	6	83.3	－	16.7	16.7	33.3	16.7	－	－
	40歳代	26	30.8	42.3	34.6	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7
	50歳代	51	35.3	25.5	33.3	19.6	21.6	23.5	9.8	7.8
	60歳代	34	44.1	44.1	29.4	17.6	26.5	20.6	5.9	2.9
	70歳代以上	43	23.3	39.5	30.2	20.9	7.0	9.3	7.0	20.9

5. 自由意見

商店会の活性化について、市へのご意見等がありましたらお聞かせください。

23 件の意見が寄せられましたので、一部を抜粋します。

【支援策について（9 件）】

- ・浦安駅前周辺の大幅な整理(ロータリー、バス停、駐輪場、喫煙スペース)をお願いします。
- ・物価高騰に加え、賃金も上がらず、消費量が低下している現状で、少しでも購買意欲を上げるには、プレミアム商品券事業等で個店に消費者を向かわせる支援が必要だと思います。
- ・全国の商店街が事業実施をして、成功したモデルケース等がありましたら教えてください。
- ・市内で営業している個人店舗をはじめ、各商店会の店舗・商連商栄会の加盟店舗での支援を今後ともどうぞよろしくお願い致します。

【改革について（5 件）】

- ・商工会議所と商店会連合会に加盟しています。商工観光課等と皆がうまく動く事を願っています。
- ・役員の刷新が必要だと思います。また、商工会議所と同じく専務理事の配置が必要です。

【現状の課題について（3 件）】

- ・仕入れが高すぎるが、値段を上げると客が来ない、光熱水費も高く、飲食業は続けていけそうもないと、日々心が折れそうになります。
- ・商連商栄会とは何ですか。堀江フラワー通り会の会員も少なくなりました。しかし、自分が営業している限り協力していきたいと思います。自分自身では何もできませんけど。
- ・とにかく地域との繋がるチャンスをと思い、商工会議所、商店会連合会にすぐに入りましたが、商店会連合会は、「百縁商店街」ではお世話になっていますが、他については、あまり所属の実感がありません。飛び飛びにしか店舗が無いので仕方ないのかもしれません。

【商店街の統合について（2 件）】

- ・地区商店会の会員数が 1 名とかがあると思うので、近隣で統合すると良いと思う。

【調査について（1 件）】【挨拶（1 件）】【その他（2 件）】

Ⅳ 意見交換会

1. 第1回意見交換会、議事概要

1. 開催日時 令和6年9月18日（水） 午後3時5分～3時30分

2. 開催場所 浦安市商工会議所会館4階 中会議室B

3. 参加者

浦安市商店会連合会 会長・理事等 計7名

浦安市 市民経済部商工観光課 計3名

調査受託者 1名

4. 配付資料

- ・市の事業概要、市のこれまでの取組、今後のスケジュール
- ・浦安市商店会実態調査票一式、意見書

5. 議事内容（市：浦安市、商連：浦安市商店会連合会とする）

—事業概要の説明—

（市）商店会のあり方検討事業は、市の実施計画となっている。令和6年度は、各商店に対してアンケート調査を行うため、アンケート調査の実施前と実施後の2回に分けて、商店会連合会役員の皆様とアンケート調査内容や調査結果を踏まえた今後の商店会のあり方について、意見交換をしたいと考えている。

第1回意見交換会では、別紙のとおり各商店に対するアンケート調査「浦安市商店会実態調査（案）」をお示しするので、アンケート調査項目及び今後の商店会のあり方等について、ご意見をお聞かせいただきたい。

—意見交換—

（商連）設問が多いと回収率が悪くなると思う。

（市）15分ほどで回答できる範囲に留めている。

（商連）これらの質問に答えてもらおうと、何が分かるのか。

（市）調査の主旨は、市に求められる支援がどのようなものかというもの。加盟店舗からの回答を踏まえ、市の活動内容へ盛り込むこととなる。

（商連）調査結果の共有を考えた場合、どういう形で情報は頂けるのか。数字だけいただいても活用しにくい。分析した形の提供を希望する。

（市）調査結果を分析し、速報の形になると思うが、第2回の意見交換会に提示する。

（商連）浦安市の商店会の特徴は、商店会毎に異なっている。百縁商店街に出るために参加している店（店舗を持たない店）もある。それらの属性による違いを分析して欲しい。

（市）問1、問2、問3の商店会属性を基準としたクロス集計を行い、それぞれの特徴を表していきたいと思っている。

—結果概要—

・市から、浦安市商店会連合会理事の方々に調査票原案を配布し、令和6年9月25日を目処に意見書を頂き、その意見をアンケート調査票に反映し、10月中に調査を実施する。

・第2回意見交換会は、令和7年1月に開催するとし、日程は別途調整する。

・その際には、アンケート調査結果を分析した速報版を配布する。

2. 第2回意見交換会、議事概要

1. 開催日時 令和7年1月16日(木) 午後3時～3時35分

2. 開催場所 浦安市商工会議所会館4階 中会議室B

3. 参加者

浦安市商店会連合会 会長・理事等 計8名

浦安市 市民経済部商工観光課 計3名

調査受託者 1名

4. 配付資料

- ・浦安市商店会実態調査(調査報告書抜粋)
- ・浦安市インターネット市政モニター制度(Uモニ)の登録者へのアンケート調査
- ・今後の方針について

5. 議事内容(市:浦安市、商連:浦安市商店会連合会とする)

—調査結果・今後の方針の説明—

(市)浦安市商店会実態調査、Uモニのアンケート調査結果の概要を報告した。

この調査により、現状の商店会の実態・課題が商店会連合会の加盟店舗、消費者の両方の視点から明確になった。これらを基に市に求められる支援について検討していくため、調査結果も踏まえ、ご意見をいただきたい。

—意見交換—

(商連)商店会活性化の支援策として、電子マネーのポイントを活用した方法もあると思う。ただ、昨今の状況を考慮すると市民の方も物価高騰に悩んでいると思うので、自治体独自のプレミアム付商品券等の発行が地域活性化の有力な手段となると思う。

(商連)他市でも、自治体独自のプレミアム付商品券が行われているので、浦安市でも実施していただきたい。

(商連)プレミアム付商品券を自治体独自でやる場合には10%程度が限度と思える。

(商連)プレミアム付商品券は、使用用途を大規模店、市内商店会に分けて、後者の比率を多くしないと、全て大規模店での消費になり、地域商店会は何の恩恵も受けられない。

(商連)以前のプレミアム付商品券は、郵便局に取扱いを依頼していた。

(商連)イベントについても、年1回開催の百縁商店街が限界である。回数増加、内容拡大も現状では難しい。これらの活動拡大(イベント規模の拡大、回数増加等)のためには、市の財政支援が不可欠と思われる。

(商連)百縁商店街よりも規模の大きい浦安市民まつりイベントもあり、規模の点に関しては他のイベントとの役割分担も必要になってくると思われる。

(市)市では、意見交換会や協議の結果を踏まえ、令和7年度において今後の方針を策定し、具体的な支援内容を検討していきたいと考えている。商店会連合会としても、調査結果を受け、今後の商店会の在り方も含め、市にご意見を頂きたい。

V 参考資料

浦安市商店会実態調査

【ご協力をお願い】

日頃より、市内商工業の振興にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このアンケート調査は、浦安市商店会連合会の正会員（各地区商店会・商連商栄会）に加盟する店舗を対象に、各店舗から見た各地区商店会や商店会連合会の現状と課題を明確にして、本市に求められる支援の方向性を検討する目的で行うものです。

ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨にご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

浦安市長 内 田 悦 嗣

【ご記入にあたって】

1. 鉛筆または黒のボールペンでご記入ください。
2. 回答は、あてはまる項目の番号に○をつけてください。
「その他」を選んだ場合には（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
3. 回答内容について、調査目的以外に使用することは一切ございません。
4. 回答に必要な時間は 15 分程度です。

【ご記入がおわりましたら】

ご記入いただきました調査票は、山折り線で3つ折りし、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**10 月 15 日（火）**までにご返送いただきますようお願い申し上げます。

本調査票に関するご質問・ご要望は以下にお願いします。

【調査票の内容】

浦安市市民経済部 商工観光課 産業支援係 担当：茶川、川上

浦安市猫実一丁目1番1号 午前9時から午後5時まで

電話：047-712-6297

E-mail：shoukougankou@city.urayasu.lg.jp

【調査票の回収】

株式会社物流科学研究所 調査部 担当：北村

電話：0280-33-3600（解析センター） / 048-887-3790 午前9時から午後5時まで

E-mail：pdsi-chousa@titan.ocn.ne.jp

《設 問》

I 貴店舗についてお伺いします。

問1 営業している地域は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- 1 元町(当代島・猫実・北栄・堀江・富士見)
- 2 中町(海楽・美浜・入船・今川・富岡・東野・弁天・舞浜)
- 3 新町(日の出・明海・高洲)
- 4 その他()

問2 所属している商店会は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- 1 各地区商店会() ※商店会名をご記入ください
- 2 商連商栄会

問3 業態は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- 1 卸・小売業 2 飲食業 3 サービス業 4 不動産・建築業

問4 従業員数は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- 1 5人未満 2 5人以上10人未満 3 10人以上

問5 代表者の年齢層は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- 1 30歳未満 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代
- 5 60歳代 6 70歳代以上

問6 貴社(貴店舗)において、後継者はいますか。(○は1つだけ)

- 1 いる 2 いない 3 なし(廃業予定)

問7 売上動向について、昨年と比較していかがですか。(○は1つだけ)

- 1 増加している 2 横ばい 3 減少している

問8 来店が多い客層は、次のどれにあてはまりますか。(○はいくつでも)

- 1 学生・若者 2 家族連れ 3 主婦・主夫 4 会社員
- 5 高齢者 6 観光客 7 その他()

問9 来店が多い年齢層は、次のどれにあてはまりますか。(○はいくつでも)

- 1 30歳未満 2 30～40歳代 3 50～60歳代 4 70歳以上

問10 今後10年先の課題は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- 1 経営改革に必要な能力 2 顧客の要望にあった商品の提供
- 3 店舗・設備の更新 4 その他()

問11 キャッシュレス決済*の状況について、次のどれにあてはまりますか。

(○は1つだけ) ※キャッシュレス決済：現金を使わずに支払いを済ませる方法

- 1 導入済み 2 導入する予定 3 導入していない

問 12 (問 11 で「1 導入済み」と回答された方にお聞きします。)

貴店舗で導入しているキャッシュレス決済は、次のどれにあてはまりますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1 クレジットカード | 2 デビットカード |
| 3 電子マネー (プリペイド) | 4 スマートフォン決済 (QR コード等) |

問 13 (問 11 で「3 導入していない」と回答された方にお聞きします。)

貴店舗でキャッシュレス決済を導入しない要因は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 決済用端末の購入・リース費用負担・導入に伴う追加的な手数料が負担である
- 2 費用対効果がよく分からない
- 3 端末等の操作・利用方法が難しい
- 4 キャッシュレス決済手段を持っている利用客が少ないと感じる
- 5 その他 ()

問 14 EC サイト※の状況について、次のどれにあてはまりますか。(○は 1 つだけ)

※EC サイト：自社の商品やサービスをインターネット上に置いたウェブサイトで商品を通信販売するサイトのこと。いわゆるインターネットショッピングサイト

- | | | |
|--------|----------|-----------|
| 1 導入済み | 2 導入する予定 | 3 導入していない |
|--------|----------|-----------|

問 15 (問 14 で「3 導入していない」と回答された方にお聞きします。)

貴店舗で EC サイトを導入しない要因は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 導入したいが、運用方法がよく分からない
- 2 EC サイト導入に伴う追加的な手数料が負担である
- 3 費用対効果がよく分からない
- 4 販路拡大する必要がない
- 5 その他 ()

Ⅱ 商店会についてお伺いします。

問 16 (問 2 で「1 各地区商店会」と回答された方にお聞きします。)

各地区商店会加入のメリットについて、どのようにお考えですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 貴店舗の売上貢献に役立っている | 2 情報を取得するのに役立っている |
| 3 催事に参加するのに役立っている | 4 その他 () |

問 17 (問 2 で「1 各地区商店会」と回答された方にお聞きします。)

貴店舗が所属する商店会と周辺の商店会の統合について、どのようにお考えですか。

(○は 1 つだけ)

- 1 商店会の活性化のためには商店会を統合し、組織強化を図るべき
- 2 商店会の統合化が望ましいが、意思統一などが難しく、困難である
- 3 商店会を統合するメリットを感じない
- 4 その他 ()

問 18 (問 2 で「2 商連商栄会」と回答された方にお聞きします。)

各地区商店会ではなく、商連商栄会に加入する要因は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 店舗の立地場所に商店会がない
- 2 商店会に加入するメリットがない
- 3 商店会の会費などが高すぎる
- 4 商店会の会合などに参加したくない
- 5 街路灯維持・美化運動などの活動が負担に感じる
- 6 その他 ()

Ⅲ 商店会連合会についてお伺いします。

問 19 商店会連合会にはどのような役割を期待しますか。(○はいくつでも)

- 1 定期的な情報交換を実施する機会の提供
- 2 販促活動や催事等のイベントをけん引していく役割
- 3 外部専門人材の紹介・繋ぎ役などを通じた経営支援
- 4 ホームページ等を用いた商店会活動の広報
- 5 EC サイト等の地域情報プラットフォームの運用
- 6 その他 ()

問 20 商店会連合会の活動に参画していきたいですか。(○は 1 つだけ)

- 1 参画していきたい
- 2 分からない
- 3 参画したくない

Ⅳ 行政についてお伺いします。

問 21 市は今後どのような形で商店会等を支援したら良いと思いますか。

(○はいくつでも)

- 1 商店会の将来ビジョンの作成支援
- 2 催事等のイベント回数を増やすための財政的支援
- 3 異業種交流、創業、事業継続、外部専門人材の紹介等の支援
- 4 EC サイト等の地域情報プラットフォームの構築・運用支援
- 5 街路灯等の整備・撤去・処分、維持管理等の支援
- 6 ふるさと納税返礼品等による販路拡大の支援
- 7 その他 ()

Ⅴ 自由意見 (商店会の活性化について、市へのご意見等がありましたらお聞かせください。)

--

Ⅵ 回答内容について

本調査の回答については、本市及び浦安市商店会連合会で共有する場合がございます。

※希望されない場合は、右記チェック欄にレ点の記入をお願いいたします。 □

Ⅶ 店舗情報 (任意回答)

店舗名称		代表者名	
------	--	------	--

ご協力ありがとうございました。10 月 15 日 (火) までに同封の封筒 (切手不要) に入れて投函してください。

「浦安市商店会のあり方検討」調査報告書

発行年月： 令和7年1月

発 行： 浦安市 市民経済部 商工観光課
〒279-8501 浦安市猫実一丁目1番1号
電話 047-712-6297